

2024年12月3日

～横浜 DeNA ベイスターズの選手も参加～

DeNAと合同で「アマモ場再生活動・クリーンアップ活動」を開催

マルハニチロ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：池見 賢）は、2024年12月1日（日）に、株式会社ディー・エヌ・エー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼CEO：岡村信悟、以下DeNA）と合同で「アマモ場再生活動」および「クリーンアップ活動」を開催しました。当日は横浜DeNAベイスターズの石田 裕太郎投手、庄司 陽斗投手も参加し、両社社員・家族含め総勢約100名が参加しました。



■実施概要

- 【日時】2024年12月1日（日）
- 【場所】神奈川県横浜市「海の公園」
- 【主催】マルハニチロ(株)、(株)ディー・エヌ・エー
- 【協力】NPO法人海辺づくり研究会

「アマモ場再生活動」は、水質浄化や二酸化炭素を吸収・固定する機能を持ち、海の生き物の生息場所にもなる「アマモ」を再生させる活動のひとつです。マルハニチログループは2014年より本活動に取り組み、2016年以降、国土交通省の「東京湾UMIプロジェクト（東京湾・海をみんなで愛するプロジェクト）」協力企業にも選定されています。

今年の5月に当社が実施したアマモの花枝採取イベントで集めたアマモの種を使用して、当日は種まきを行いました。参加者は、溶けて海に還る天然素材で作られた播種（はしゅ）パックに、泥と砂とともにアマモの種を数粒入れ、ダイバーが海中に埋めました。埋めた種は冬の間発芽し、5月下旬頃に花枝がのびて花が咲き、再び種ができます。

■ DeNAおよび横浜DeNAベイスターズとのつながり

マルハニチロは、横浜DeNAベイスターズの前身となる大洋ホエールズ(または球団)の創設者であり、1949年から53年間オーナー企業として球団とともに歩み、ファンのみなさまと喜びをともにしてまいりました。2002年のチーム譲渡を経て、2019年の球団創設70年を機に支援を開始、2022年には“食”に関するアスリート支援を通して、より多くの方に魚の健康的な価値・おいしさや、魚を取り巻く環境について知っていただきたいという考えのもと、「DeNAスポーツ オフィシャルパートナー」に就任いたしました。

以降、DeNAスポーツの横浜DeNAベイスターズ、川崎ブレイブサンダース、SC相模原と共に、子ども向け野球大会への支援、3チームの選手が出演するSDGsオンラインイベントの配信、子どもサッカー教室の開催など、さまざまな取り組みを実施しております。

■ 「アマモ場再生活動・クリーンアップ活動」当日の様子



▲ 播種パックに絵を描く石田投手と子どもたち



▲ 播種パックにアマモの種を詰めている様子



▲ 海中に播種パックを埋めている様子を見学



▲ クリーンアップ活動の様子（石田投手、庄司投手）

海と共に歩んできたマルハニチロは、今後も積極的に持続可能な海洋環境の保全活動に取り組んでまいります。

以上

報道各位からのお問い合わせ先

マルハニチロ株式会社 経営企画部

ブランドコミュニケーション・広報グループ

メール koho@maruha-nichiro.co.jp